

KSKQ どかどか No.297

ぼぼんがぼん news



笑顔あふれ つながりあえる社会へ

～ひとりひとりが自分らしく生きてゆけるために～



謹賀新年

謹んで新年のお慶び申し上げます。(喪中のお便りをいただいた方への配慮が出来ずご容赦ください。)

さて、前回は障害者権利条約と2022年に国連の権利委員会による総括所見について、できるだけ分かりやすい説明文を書かせてもらいました。2023年10月13～14日に開催されたピープルファースト全国大会in大阪には、この国連の障害者権利委員でもあるロバート・マーチンさんを始め世界で活躍される当事者リーダーがゲストスピーカーとして登壇されていました。この「障害者権利条約」と「ピープルファースト」は、今後の取り組みの核としてしっかりと意識していかないといけないのです。

そんなこともあり、11月10日(金)11日(土)で東京で開催された「第45回総合リハビリテーション研究大会」へ勉強を兼ねて行ってきました。テーマが「障害者権利条約と総合リハビリテーション」。初日の基調講演でNPO法人にほんしょうがいしゃきょうぎいだいひょう ふじいかつりし しょうがいしゃけん りじょうやく そんざい しょうがいかんれんせいさく ほつきよけい みらい 日本障害者協議会代表の藤井克徳氏が障害者権利条約の存在について、「障害関連政策の北極星」であり「未来からのけん引」なのだとは表現されており、条約との距離感を掴むための良い表現だと感じました。

また、シンポジウムを通じて国内での権利条約の浸透に関する課題が提起されていました。シンポジウム内においても、医療職のパネラーからは、条約で謳われている「社会モデル」が「医療」への批判のように感じてしまい、違和感を抱いていると率直なご意見が出されていました。

たしかに今の日本の社会において「社会モデル」の考え方を浸透させ、理解を広げていくことが簡単ではないとは思いますが、障害福祉の現場においてさえ「社会モデル」の考え方をどのように浸透させ、実践していくことができるのかは課題と言えます。

「社会モデル」の考え方を共有し、継承していくには、障害者権利条約やピープルファーストで障害当事者からも求められているように、まずは私たち自身が、誰に対してもできるだけ分かりやすく言語化をしたり、時にノンバーバル(非言語的)に共有、体感する機会を創造していくことが必要なのではないかと思っています。

2021年1月号のどかどか通信から始まった「きょうのNANIKA」やどかどか・ぽかぽかのInstagramによる発信のテーマは、『私たち支援スタッフや、利用者さん同士が「何かすごい」「何か良いなあ…」と感じた「何か」。名前をつけたり説明してしまう前に、まず色々な人に見て欲しい、そして一緒に考えられたら良いなと思います。』です。この取り組みも、障害者権利条約やピープルファーストの理念を発端とし、「利用者」に「支援者」として関わる手前を体感できるものになったらいいな、という思いを乗せています。

ということで、今年もいろいろなどところで、いっしょに考え、いっしょに行っていただければ幸いです。本年もどうぞよろしく願い致します。

(事務局 水野昌和)

一九九一年九月三日 第三種郵便物承認 毎月(1・2・3・5・6・8)の日発行

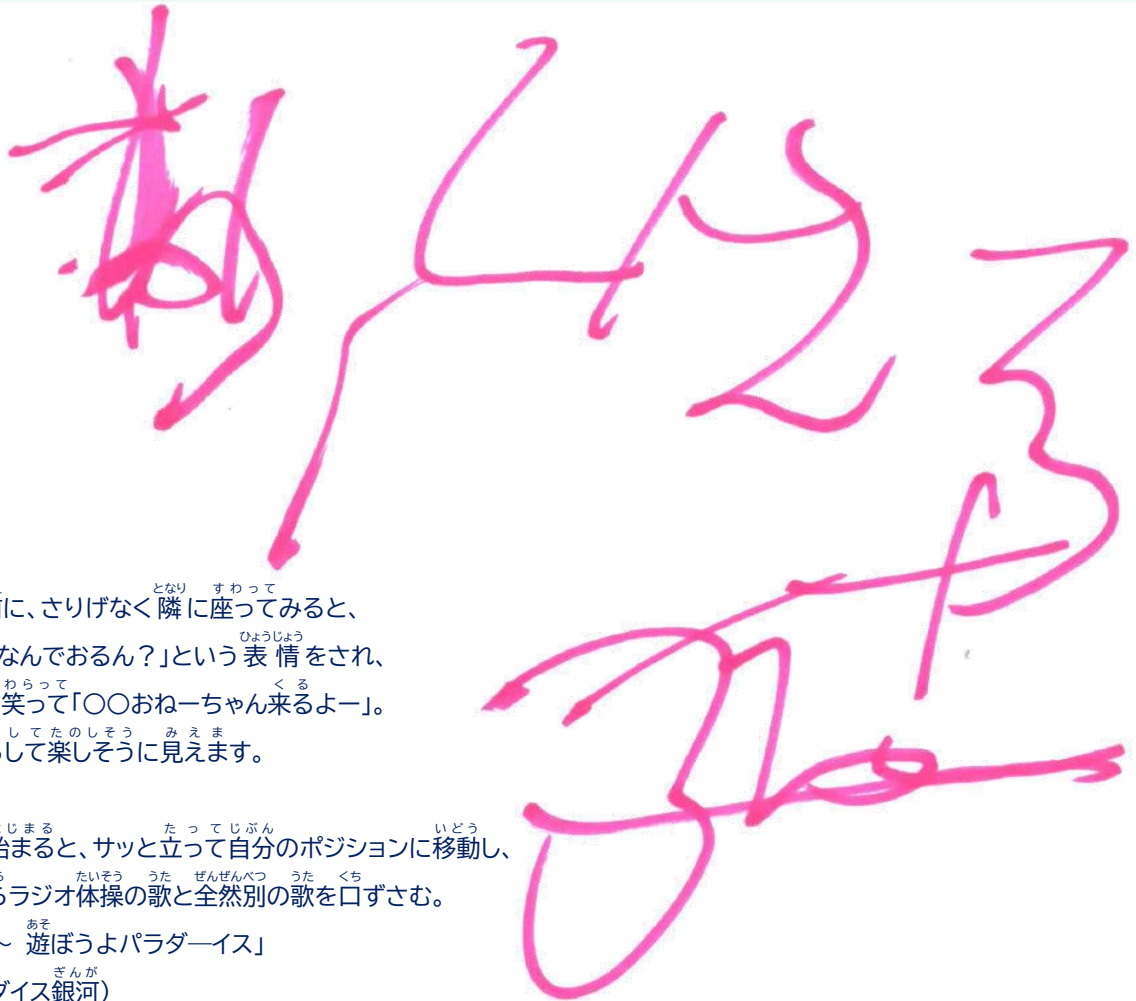
内容

- 年始のご挨拶
- 今日のNANIKA
- ピープルファースト大阪大会報告
- ろくちゃんまちをゆく
- 後援会より
- 授産製品案内/寄付金等のお礼
- 編集後記

きょうのNANIKA

013


せいがかつがいごじぎょうしよ
生活介護事業所ぼかぼか・どかどかに通う利用者さんの取り組みのなかで、
わたしたちしえん
私たち支援スタッフや、利用者さん同士が「何かすごい」「何か良いなあ…」と感じた「何か」。
なまえ
名前をつけたり説明してしまう前に、まず色々な人に見て欲しい、
いっしょ かんがえられたらいい おもい
そして一緒に考えられたら良いと思います。



あさ
朝のミーティング前に、さりげなく隣に座ってみると、
こちらに気づいて「なんでおるん？」という表情をされ、
それからニコッと笑って「〇〇おねーちゃん来るよー」。
からだ
身体をちょっと揺らして楽しそうに見えます。

あさ
朝のラジオ体操が始まると、サッと立って自分のポジションに移動し、
からだ
身体を動かしながらラジオ体操の歌と全然別の歌を口ずさむ。
「ようこそ～ここへ～ 遊ぼうよパラダイス」
(光 GENJI パラダイス銀河)

たいそう おわる
体操が終わるとミーティング、ミーティングは畳スペースの座卓に正座で着席。昔のぼかぼか(主原町)でもそうだったな～と
おもいだしながら、ミーティングが終わると、先ほどまで座っていたピンク色の座椅子に戻れます。
うわばき
上履きをしているクロックスもピンク色です。
さいきんききません
最近聞きませんが、「ピンクのもじゃっと～♪」という伝説的な奥原さんフレーズも、ピンクです。

そこで、「さえ子さん、名前を書いてくれませんか」と、ピンクのペンと、紙とバインダーをお見せすると、スッと手に取って、
「お、く、は、ら、さ、え、子」と口に出しながら書いてくれました。(字は自然に  の流れになっている)

ありがとうございます、と言うと「ありがとう」と繰り返して、関わりは終わりました。
あの歌が、自分への「ようこそ」だったら嬉しいな～と思いました。

(題字：林裕之さん 文：山根康純)

ピープルファースト大会 報告



ピープルファースト大会in大阪 2023年10月13日(金)・10月14日(土)2日間ありました。

参加人数1272人。13時開会式、13時半全体会。

- ①日本の入所施設について 映画『大空へはばたこう自立への挑戦』
- ②世界から入所施設をなくそう地域で暮らそう ロバート・マーティンさん(ニュージーランド)、コリー・アールさん(カナダ)、エミリー・ムティエンさん(スウェーデン)、ゲスト3人来ました。入所施設の話



をしました。

- ③津久井やまゆり園事件について。P F 横浜報告
- ④旧優生保護法 P F 奈良の報告
- ⑤あすなろ福祉会について P F 北海道からの報告 スウェーデン



の入所施設をいち早く無くした

ロニー・シオネさん(ニュージーランド)、コリー・アールさん(カナダ)、オーラ・ムティエンさん(スウェーデン)、ゾン・ユツンさん(台湾)、土本秋夫さん(日本)

スウェーデンを見習おう。

2日目分科会I 障害者権利条約

障害者権利条約の言葉が多すぎる。何を言っているかわからない人がいた。プロジェクトで映していました。最後までやりました。来年度は奈良大会です。来年は全員参加で御願います。(鎮山伸吾)

参加する度に、当事者の方々のパワーに圧倒される。

ぼんのメンバーさんがこの場にいたら、どんな風を感じるんだろう?

「こんなんしたい!」「あんなんしたい!」が沸き起こってくるのかな?

沸き起こってほしいな。。

みんなの「こんなんしたい!」を実現するためのお手伝いができれば

いいな。(ヘルパー派遣 加登めぐみ)



みんなで話してるからおもしろいから参加した。

みんなで楽しかった。おもしろかった。(芳村博司)

今年は大阪大会の為、yhさんのガイドと一緒に参加でき、盛大な大会に同席させて頂いていますありがとうございます。

(ヘルパー派遣 大森)





鎮山さんのガイドヘルパーとして初めてピープルファースト全国大会に参加しました。
 自分が参加したのは 2 日目だけでしたが、分科会の様子を見たりや前日の交流会の話を鎮山さんからお聞きして、新しい繋がりや可能性が広がる場所なんだろうなと感じました。
 (ヘルパー派遣・ぽかぽか支援員 藤原和希)



ピープルファースト大会に初めて参加してきました。
 1 日目は、世界で活躍している知的障害の仲間の方々から、国連の障害者権利委員会で知的障害者としての話、カナダでの入所施設の解体を進めてきた話、スウェーデンで当事者が地域で生活をするために政治家や社会で訴える話をされ、日本からは津久井やまゆり園の事件の話、旧優生保護法裁判についての話、北海道・あすなろ福祉社会についての話を聞き、当事者自身が訴えていくことが大事だと改めて認識ができ、活気があって良かったです。

す。その中で特に印象に残ったのは、2 日目の分科会① テーマの内容が障害者権利条約で日本を含め各国の仲間から、どのように考えられているのか発表され、その途中で、仲間から内容が分からないと発言され、実行委員の方々が相談し、その結果、みんなに障害者権利条約は難しく、分かりやすい本があり、支援者の方に説明をしてもらうように説明をされました。それからは発表の方々も説明を分かりやすくするように気を配りながら、分科会が終わりました。

分からないという事を発言で分からないと伝えていくことって、みんなの前で発言できるかという私には出来なく、そのまま終わらせている事があると思い、伝えていくことって大事だなんて気付かされ、ピープルファーストに参加して良かったです。(六條友聡)



日本から入所施設をなくそう!

ピープルファーストは、知的障害のある人たちの当事者運動です。
 今から 100 年前、世界では、知的障害のある人たちは強制的に入所施設に入れられていました。障害のある人たちには人権がなかったのです。しかし、1970 年代になって、アメリカやヨーロッパの知的障害のある人たちが「知的障害者として扱われるのではなく、まず一人の人間として見てほしい」と声を上げました。そうして生まれたのがピープルファーストです。一人の人間としての権利をもとめ、仲間とともに社会に訴える活動は世界に広がりました。
 (ピープルファーストジャパン ホームページより抜粋)



ろくちゃんまちをゆく NO.104



2024年に、初めて読まれることと思い、新年、明けましておめでとうございます。

また、ろくちゃんまちをゆくを読んでくださっている方、今年も気が向いたら読んでください。本年もよろしくお願ひ致します。

昨年、11月26日にオープンした、新施設・広場、『おにクル』を記事にしたいと思ひます。『おにクル』は、ホールや図書館、子育て支援、市民活動センター、プラネタリウムなど、多くの機能が入る複合施設です。



『おにクル』が建てられることが決まった時から、『茨木の街のバリアフリー化を考える連絡会』を通じて、設計の段階からバリアフリーについて茨木市の行政の方と意見交換をしていました。複合施設というところで、ハード面では、エレベーターの大きさについて、ベビーカー・足の不自由な方、車椅子が利用されることやストレッチャーでも利用できる大きめのエレベーターが必要なこと、ゴウダホール（大ホール）では、車椅子席が6席と舞台の前のところの座席の取り外しができ、選べるようにしてほしいこと、その他にもいろいろと希望を上げさせてもらいました。その結果、エレベーターについてはストレッチャーの長さによって、そのままの利用が難しい場合があるようですが、以前の市民会館では11人乗りもしくは15人乗りでしたが、今回は、30人乗りの大きさが2台つき、ある程度は希望を叶えてもらえたと思ひています。ゴウダホール（大ホール）では、主催者の運用面での理解で前の座席が取り外して車椅子席になり、経過を見守っていきたくと思ひます。

ソフト面では、『おにクル』の指定管理をされている民間企業のサントリーパブリシティサービス株式会社の職員などを対象に障害の理解の接遇研修を企画させてもらい、茨木障害フォーラムを通じて障害当事者・家族の団体に協力

依頼を行い、3日間の研修が



きました。ハード面で賄いきれないことは、ソフト面でカバーをしていくことで、誰もが利用できる『おにクル』になればと思ひています。毎年、ソフト面では、障害の理解の接遇研修ができるように企画をあげて行ければと思ひます。



ろくしょうともあき (六條友聡)





しゃかいふくしほうじん 社会福祉法人ぽぽんがぽん後援会

「つながりの会 ぽぽんがぽん」

コロナへの対応が変わり、昨年は活動も少し復活しました。

7月16日、総会。

ズーム併用で開催しました。一昨年「『ぽぽんがぽん』に後援会としてどう支援されま
すか?」というご意見も頂いていましたので、法人と相談の上、いばらき
自立支援センター「どかどか」「ぽかぽか」の送迎車老朽化に伴う新車
購入の補助に寄付させて頂いた報告をさせていただきました。二部で
は「虐待防止に向けた取り組みについて」、昨年度から引き続き取り組
まれた内容についての報告がありました。



9月10日、交流会「卓球」。

4年ぶりの交流会でした。会の考案した「スマートピンポン」、前回のもの
に追加で新バージョンに。「入った!!」、「思うように入らない…」悲喜こ
もごも…。普通の卓球台ではマイラケット持参の方もあり、白熱した
試合?も続いていました。途中休憩
で茶話会を。久しぶりにみんなでおしゃべりしながら楽しい和やかな時間で
した。後半も引き続きプレイを楽しみました。準備からプレイ、茶話会、片付け
…とお手伝い頂いた学生ボランティアのお二人に沢山協力頂き、交流会も
大変盛り上がり感謝でした。



11月15日、茨木しょう会との共催の学習会「成年後見制度について」。

つぐみ法律事務所より弁護士の東奈央さんにご登壇いただき成年後見制度についての学習会が開催されました。
障がいのある子の親として誰もが抱える不安、悩み…、会内・関係者への案内、ハートフル・市民活動センターの
掲示板や市広報にも掲載してもらい、広く案内を。多くの問い合わせ、申し込みを頂き、定員(70名)に達したた
め、申し込みをお断りするほどでした。参加された方からは「後見人制度について知りたかったので参加した」
「他の講演と違いデメリットの説明もありよかった」「具体例など聞けてよかった」「じっくり考えるいい機会になっ
た」「支援者として制度についても理解しておくこと大事だと思った」「講師の東先生(弁護士)の話はわかりや
すかった」「もっと、詳しく聞きたかった」「パート2の学習会を開催し
てほしい」…等、多くの感想をいただきました。
昨年の活動を踏まえ、今年度、どのような活動をしていけるか…、
又、みんなで検討しながら、皆さんと一緒に活動していきたいと思
います。(村上和子)



いばらき自立支援センター「ぽかぽか」「どかどか」自主製品のご案内

あくりるたわし



あぶらよこれ
油汚れがスッキリ
(小)50円
(大)100円

かたこりようつうよぼう
肩こり腰痛予防に。丸洗いで清潔
サイズ：XS～L 1000円～1200円

布ぞうり



ちびぞうり根付け



かぎのお供に
直径約3cm 450円

あくりるハンディモップセット



ホコリ取ります
(大)500円
(小)400円

使い方は自由
同柄5枚入
200円

てすきふうとう



上記の商品以外にもまだまだあります。

お買い求めは、下記へご注文をお願いします。

いばらき自立支援センター「ぽかぽか」 ☎072-635-5762 メール pokapoka@popongapon.com

ご支援、ご寄付、ご提供ありがとうございます！

2023年9月5日～2023年12月7日まで(順不同)

郵便振替の都合上、お名前が反映できていない場合は上記期間に限らず掲載させていただきます。ご了承ください。



社会福祉法人ぽぽんがぽんへご寄付ありがとうございました
新井様 長島様 川本様 金田様 村上様 川崎様 埴淵様
匿名の皆様

つながりの会ぽぽんがぽん(後援会)へのご寄付ありがとうございました

村上様 萩原様 小野様 匿名の皆様

【募金箱】埴淵様 ファミリーマート舟木町店様 ファミリーマート並木町店様 ファミリーマート天王店様
ファミリーマート別院町店様 王様



アルミ缶・牛乳パックのご提供ありがとうございました

【アルミ缶】ハロハロ様 舟橋様 浅野様 古川様 埴淵様 ハシダニ様 藤本様
竹内様 林様 洗様 GHピース様 作業所等へ持って来てくださった皆様
【牛乳パック】萬谷様 ハシオダニ様 洗様 関西よつ葉連絡会淀川産地直送センター様 GHピース様 GH多歌多架様 作業所等へ持って来て下さった皆様

ご寄付をご希望いただける方は
こちらまでお願いします
<払込取扱票をご利用される場合>
口座記号番号：00930-0-212299
口座名称：社会福祉法人ぽぽんがぽん

<口座振込をご利用される場合>
銀行名：ゆうちょ銀行
金融機関コード：9900 店番：099
店名：〇九九(ゼーエウキウ)
預金種目：当座
口座番号：0212299
口座名称
(漢字)：社会福祉法人ぽぽんがぽん
(カナ)：フク ポポンガポン



編集後記

昨年はおおさかでもくまでも熊が出たとニュースになった。
 ぼくの家(茨木市の山のほう)にもまあまあ近くの地域

で熊の目撃情報あり注意喚起の回覧がまわってきた。
 茨木市の山のほうもずいぶんと開発が進んで、景色も様変わりしているの
 で、住んでいた動物のみなさんが行き場がなく困っているのだろうなどは
 想像ができ、申し訳なく思う。

とは言え、夜中に家の前で野生動物の気配があるとこわいなあと思う。
 今頃、熊のみなさんは無事に冬眠してくれているだろうか。

大変だったコロナ禍であったが2023年5月コロナが5類になった。
 それはそれで忙しくもなり、あっという間に1年を振り返る間もなく年を越
 えた感がある。

地球環境、世界の情勢、日本の今、日常のなかでつながりのある人々の
 こと、すべてに向き合おうとすれば身が持たないので、持ち前の鈍感力を活かしなが
 ら、でも、地球規模のつ
 ながりを感じ取ることを意識しながら、障害のある人が地域であたりまえに生きることが
 できる社会
 の実現に取り組む立場で、こつこつと取り組んでいきたいと思う。(太田吾郎)



ピープルファースト大会交流会



ぼくの家猫

左: しお 右: ごま



おにクル開館記念イベントに参加

知的障害のある人の自立生活について考える

知的障害のある人の自立生活について考える会

ぼくも運営委員として参画している考える会の情報です

- 法人本部、ヘルパー派遣、グループホーム窓口、相談支援
 〒567-0888 茨木市駅前 1-4-14-3F Fax 共通 072-623-9203
 法人本部 Tel 072-623-9202 (9:00~18:00)
 グループホーム窓口 Tel 072-623-9202 (9:00~18:00)
 ヘルパー派遣 Tel 072-623-9205 (9:00~18:00)
 相談支援 Tel 072-623-9210 (9:00~17:00)
- いばらき自立支援センター「ぼかぼか」(8:30~17:30)
 〒567-0850 茨木市真砂玉島台 8-20 Tel 072-635-5762 Fax 072-635-5763
- いばらき自立支援センター「どかどか」(8:30~17:30)
 〒567-0842 茨木市五十鈴町 7-29-1FS Tel 072-637-6882 Fax 072-637-6883
- 茨木市子ども・若者自立支援センターくろす (10:00~19:00)
 〒567-0842 茨木市片桐町 4-7 Tel 080-2467-5566
- ユースプラザ center エント (10:00~19:00)
 〒567-0882 大阪府茨木市元町 4-7 ローズWAM2 階 事務室 Tel 080-1521-4624

<https://popongapon.com/>



編集人:「障害者」の生活をひろげる場「どかどか」(社会福祉法人ぽぽんがぽん)
 Tel(072)623-9202(お問い合わせはこちらまで)
 〒567-0888 茨木市駅前 1-4-14-3F
 発行人:関西障害者定期刊行物協会
 〒543-0015 大阪市天王寺区真田山町 2-2-東興ビル 4F 定価:50円

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
 フォントを採用しています。